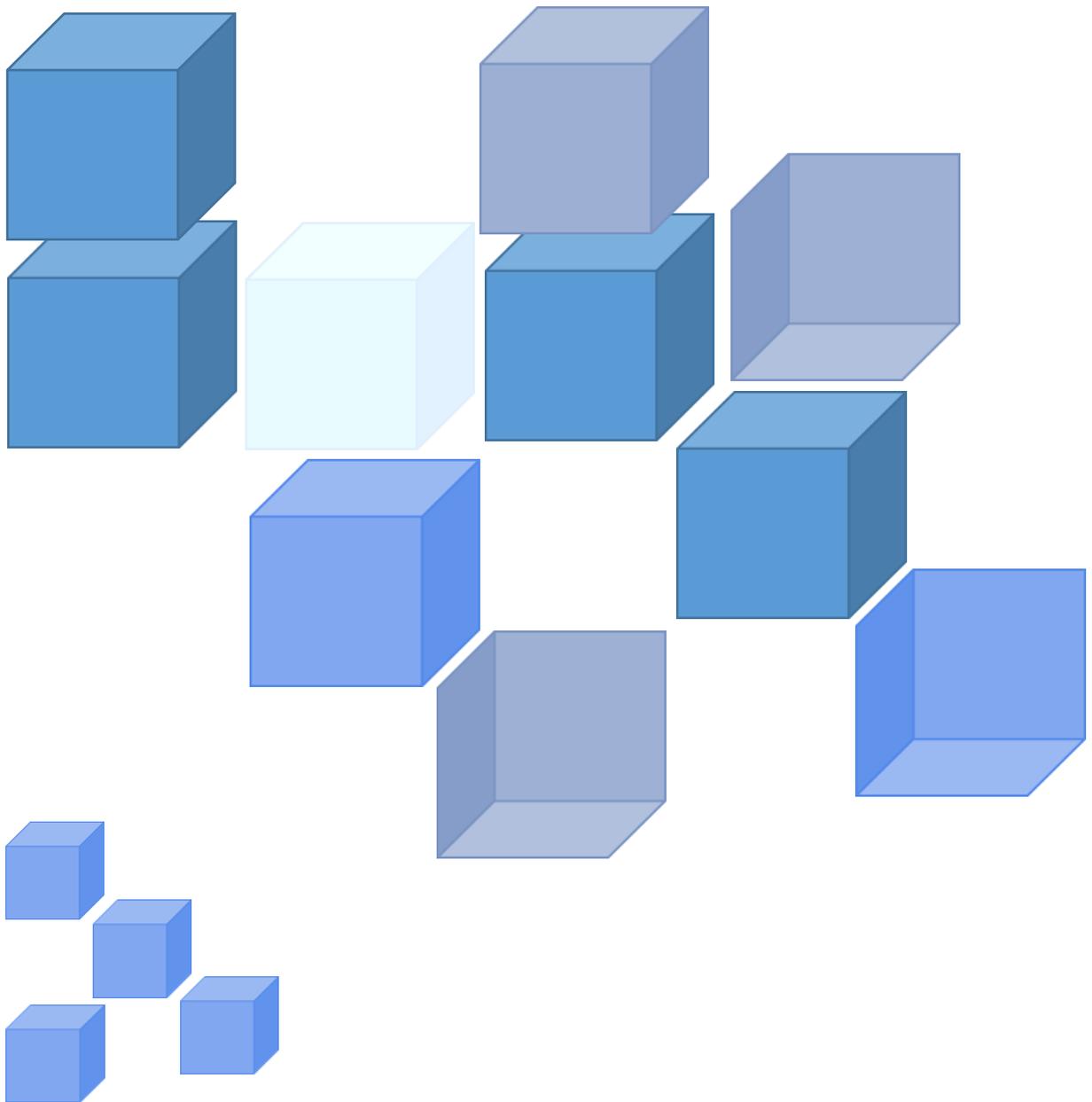
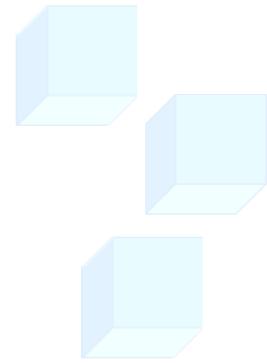


4. 今後に向けて



平成 28 年度の分析から

全国学力・学習状況調査の結果についての分析の中で、寒川町の傾向についてまとめを行ってきました。平成 28 年度の結果分析の概要について 5. 「児童・生徒質問紙と教科における調査の正答率のクロス集計から、導かれること及び指導上留意すべき事項」の中で、学習に必要な要素を次のようにまとめています。

学習に必要な要素

- 学習の土台
 - ・ 学校生活 … 安心して取り組める学習環境
 - ・ 家庭生活 … 基本的な生活習慣の確立
遊び・学習のバランスを意識した生活
- 学習の積み重ね
 - ・ 学校生活 … 基礎・基本の習得・習熟
「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業
 - ・ 家庭生活 … 基礎・基本の習熟（予習・復習・宿題）

このことについて、それぞれの要素について平成 29 年度の児童・生徒質問紙の結果を照らし合わせていきます。

学習の土台について 学校生活・家庭生活

- 学校生活について … 安心して取り組める学習環境であるか

学校に行くのは楽しいと思いますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	86.8	82.0
	県	86.3	79.6
	国	86.3	80.9

学校で、友達に会うのは楽しいと思いますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	95.9	94.0
	県	96.3	93.9
	国	96.4	94.6

学校で、好きな授業がありますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	93.3	83.0
	県	93.3	79.6
	国	93.0	79.2

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	81.1	84.4
	県	84.0	77.9
	国	86.0	80.4

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	82.5	83.7
	県	81.6	72.6
	国	85.1	75.5

成果

これまでに取り組んで『強み』になったこと

- ・ 学校に通うことが好きである児童・生徒が多い
- ・ 教師はしっかりと児童・生徒と向き合って、
認めること、教えることができている

○ 家庭生活について … 基本的な生活習慣は確立されているか

朝食を毎日食べていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	92.6	92.6
	県	95.3	91.8
	国	95.4	93.2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	77.7	77.2
	県	79.3	72.0
	国	79.8	75.6

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	89.2	93.1
	県	90.2	89.3
	国	91.2	92.4

成果

これまでに取り組んで『強み』になったこと

- ・「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣ができている
(家庭から学校へ送り出す意識が高い)

○ 家庭生活について … 遊び・学習のバランスを意識して生活しているか

月曜日から金曜日で1日当たり1時間以上 テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたり する割合(%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	88.0	83.1
	県	80.6	79.2
	国	83.0	79.2

月曜日から金曜日), 1日当たり1時間以上 テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式の ゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使った ゲームも含む)をする割合(%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	66.5	61.0
	県	55.2	61.5
	国	55.5	59.0

月曜日から金曜日), 1日当たり1時間以上 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをする割合(%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	15.2	42.0
	県	12.9	39.6
	国	12.0	32.2

学校の授業時間以外に, 月曜日から金曜日に 1日当たり1時間以上勉強をする割合(%) (学習塾で勉強している時間や家庭教師に 教わっている時間も含む)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	43.2	57.0
	県	59.7	71.7
	国	64.4	69.6

携帯電話やスマートフォンの使い方について, 家の人と約束したことを守っていますか → 当てはまる(%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	56.1	61.3
	県	54.8	57.8
	国	48.7	50.6

テレビを見る時間やゲームをする時間などの ルールを家の人と決めていますか → 当てはまる(%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	53.0	34.2
	県	58.5	32.1
	国	58.3	34.0

家で, 自分で計画を立てて勉強をしていますか → 当てはまる(%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	46.8	50.3
	県	62.5	50.4
	国	64.5	51.5

成果

これまでに取り組んで『強み』になったこと

- ・ 携帯電話やスマートフォンの使い方のルールを決め、守っている児童・生徒が多い
(保護者と子供の信頼関係がある)

課題

これまでも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

- ・ 計画を立てて学習することを意識する
(家庭での持続可能な学習の在り方を考えていく)

学習の積み重ねについて 学校生活・家庭生活

○ 学校生活について … 基礎・基本の習得・習熟に関わる授業の視点

5年生または1・2年生までに受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか → 当てはまる(%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	86.6	94.3
	県	85.5	81.8
	国	88.2	87.8

5年生または1・2年生までに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか → 当てはまる(%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	70.5	72.7
	県	72.8	60.6
	国	76.2	66.1

5年生または1・2年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか → 当てはまる(%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	89.2	88.0
	県	85.3	72.4
	国	88.7	80.3

成果

これまでに取り組んで『強み』になったこと

- ・ その授業のめあてやねらいが示されている
 - ・ ノートにもめあてやねらいが書かれている
- (授業で何をするか、教師と児童・生徒が共通理解)

課題

これまでにでも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

- ・ 振り返りをしっかりすることで、その授業で身についたことを確認する
 - ・ 「何を」「どのように」振り返るかを明確にする
- (学習内容の習得・習熟について大きく影響する)

○ 家庭生活 ... 基礎・基本の習熟（予習・復習・宿題）への取り組み

家で、学校の宿題をしていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	95.9	81.1
	県	96.4	84.0
	国	96.9	89.5

家で、学校の授業の予習をしていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	33.5	31.6
	県	38.6	35.5
	国	41.0	31.7

家で、学校の授業の復習をしていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	36.7	44.5
	県	44.1	44.2
	国	53.8	50.5

成果

これまでに取り組んで『強み』になったこと

- ・ 小学校では学校で出された宿題をしている児童が多い
(小学校で定着した宿題の習慣を中学校でも引き継ぐ)

課題

これまでも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

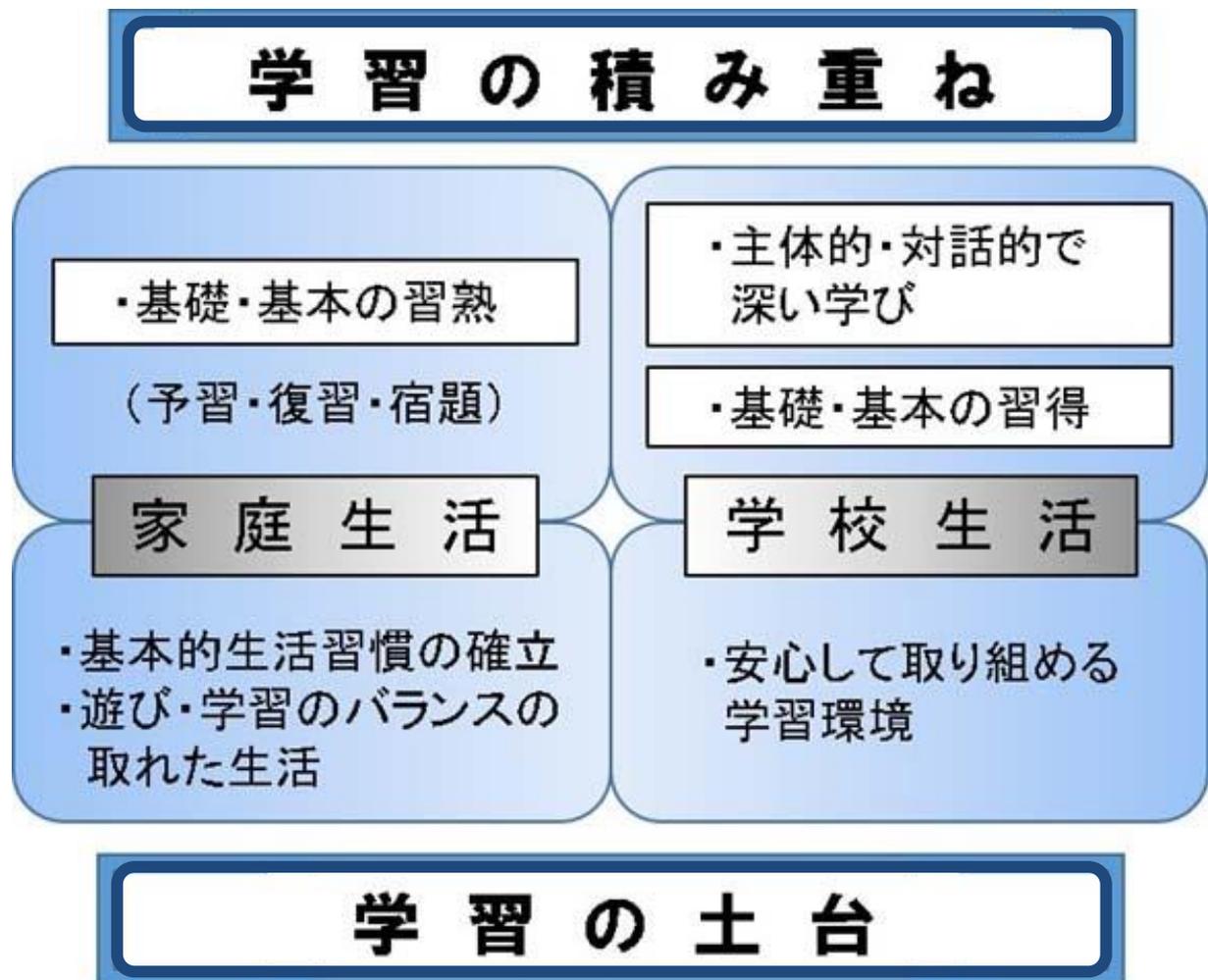
- ・ 家庭で予習や復習をする習慣を定着させる
(予習・復習については、「何を」「どのように」
学習したらよいか分かりにくい側面もある)

今後の取り組みについて

前段までのことから、寒川町で行っている教育活動は現行および新学習指導要領と向っている方向は同じです。平成 27 年度、28 年度の結果分析¹⁰で挙げている内容は今後も継続していくことが大事です。

その中でも「はじめに」にありますように、「成果」を「これまでに取り組んで『強み』になったこと」、「課題」を「これまでも取り組んできたが、今後より重点的に取り組みたいこと」として、学校だけでなく、家庭と一緒に取り組んでいけることについて考えてきました。

今後も、これまでの取り組みを評価しつつ、次のステップにつなげられるよう「学習に必要な要素」の概念図にあるポイントに焦点をしばって取り組みを続けていきます。



¹⁰ 平成 27 年度、平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果及び結果分析の概要については寒川町のホームページで公表されています。(右 QR コード)

※「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業の視点については、「1.求められている授業の形 (p.4)」の 9【新学習指導要領との関連：主体的・対話的で深い学び】を参照。



家庭での学習について … 基礎・基本の「習熟」に向けて

授業で学習したことは、授業内で理解（習得）するよう、学校では日々授業実践を行っています。教科書を読むだけ、学習内容のビデオ教材を見る¹¹だけで習得することは、小学校、中学校の児童・生徒には難しいことです。

前段での授業スタイルになりますが、その授業で必要な知識・技能等を教わり、それについての課題を自分で考え、友達と話し合い、発表し、共有することを通して学習内容の習得につなげます。そこで習得したことをしっかりと自分のもの（習熟）にするためには、家庭学習が必要になります。

毎日家庭で大変な量の学習を行うことは、継続して学習を行う習慣にはつながりません。それぞれの家庭の生活のリズムに合った形で、少しずつコツコツと取り組んでいくことが持続可能な学習をするには大事です。

そこで、これまでの分析の中で出てきた算数・数学の課題としては、主として計算問題が挙げられます。

課題

これまでにも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

計算については継続的に習熟を図っていく

（四則（ $+$ $-$ \times \div ）の計算、分数、小数、方程式）

計算問題は、算数・数学の一番土台となる部分です。しかしながら、「数と計算」「数と式」は教育課程上一定の期間でのみ単元として詳しく扱います。それ以外の期間にも児童・生徒それぞれの力に応じて、また、それぞれの家庭の持続可能な範囲で、継続して取り組んでいくことが大事です。

¹¹子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就く（キャシー・デビッドソン氏（ニューヨーク市立大学大学院センター教授））との予測や、今後10年～20年程度で、半数近くの仕事が自動化される可能性が高い（マイケル・オズボーン氏（オックスフォード大学准教授））などの予測がある。その中であって、小学校、中学校の教師は、単に知識・技能の伝達に留まらないその専門性によって存続していく職業とされている。（「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」に付記）

国語では「書くこと」について課題がありました。

課題

これまでにも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

目的や意図に応じて必要な情報を取り出して書くこと

集めた情報を根拠にして自分の考えや意見を書くこと

これについては、家庭で継続的に行うには難しさもあり、学校の授業の中で行うもの、また、それを家庭でまとめることで、習熟の機会を作っていくことが必要です。
また、国語については継続的に行うことで力になっていく領域があります。

小学校 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

分類	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
国語A	言語についての知識・理解・技能	64.4	-12.8	63.1	-8.0	70.2	-7.8

A 問題	「漢字の読み・書き」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(正答率%)	率全 と国 の正 差答	無 解 答 率
7(3)	漢字を読む (申しこみ期限)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む	92.8	-1.7	4.6
7(4)	漢字を読む (事務室前)		87.5	-1.3	4.8
7(6)	漢字を読む (指示)		88.2	-6.3	3.6
7(1)	漢字を書く (参加たいしょう)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く	22.3	-19.7	20.1
7(2)	漢字を書く (4年生のきぼう者)		67.6	-12.4	9.4
7(5)	漢字を書く (箱がおいてあります)		64.3	-12.5	22.8

中学校 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

問題	区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度	
		平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差	平均正答率	全国との差
国語A	言語についての知識・理解・技能	67.5	-5.4	67.2	-6.7	73.4	-3.8

A問題	「漢字の読み・書き」 設問の概要	出題の趣旨	寒川町		
			(%) 正答率	率全 と国 の正 差答	無 解 答 率
9二1	漢字を読む（ <u>覚悟</u> を決める）	文脈に即して漢字を正しく読む	97.6	-1.1	2.1
9二2	漢字を読む（ <u>鮮やかな色合い</u> ）		94.0	-0.5	1.4
9二3	漢字を読む（ <u>水が垂れる</u> ）		91.0	-3.3	2.9
9一1	漢字を書く（ <u>組織のキボ</u> を大きくする）	文脈に即して漢字を正しく書く	45.2	-17.6	31.9
9一2	漢字を書く（ <u>雨で運動会がエンキ</u> になる）		48.6	-13.7	25.0
9一3	漢字を書く（ <u>店をイトナむ</u> ）		77.1	-8.3	15.5

国語の領域「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」には、漢字や語句の設問が含まれます。これらについても継続的に学習することで確実に力になっていきます。

家庭での取り組みについて … どのように学習をしたらよいか

課題

これまでにも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

- ・ 計画を立てて学習することを意識する

（家庭での持続可能な学習の在り方を考えていく）

以上のことから、具体的にどのように家庭学習をしていけばよいかお伝えしていきます。

平成 29 年 4 月に「家庭学習の手引き」を寒川町内全児童・生徒に配布しました。この手引きは、平成 28 年度の全国学力・学習状況調査の分析をもとに作成しています。

手引きには、その学年の課題とされる学習内容とともに、インターネット型学習支援サービス「e-ライブラリ」を活用した学習コンテンツについて載せてあります。これを活用することにより、それぞれの児童・生徒の実態に応じて、それぞれのペースで取り組むことができます。

家庭生活にテレビやゲーム等の時間があるように、学習をする時間を計画に取り入れることで、テレビやゲームの精神的な部分とともに、将来の生活につながる自分自身の豊かさを、自分の力で増やしていくことが大事です。

課題

これまでにも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

- ・ 家庭学習の手引き、e-ライブラリの活用による習熟
(個々の様子に合わせて適切な内容を計画的に)

平成29年度版
家庭学習の手引き ～ 学習、テレビやゲーム、読書のバランスを大切に ～ 寒川町教育委員会

よく学び よく遊び よく生きる

小学校 5・6年生 学んだことを使って挑戦する

1日の学習時間の目安
60分～
まよまでの時間から始めよう

**自分の意見ははっきりと！
相手を意識した行動を。**

生活 テレビやゲームなどの時間は守られていますか。規則的な生活は大事です。今一度、生活習慣の見直しをしていきましょう。

学校 これまでに学んだことを使った学習が多くなります。考えたことを説明する機会が多くなります。難しいところがどこか確認しましょう。

家庭学習 やりたいことも多く、つつい学習は後回しに。家庭での学習の時間を一日の中でとれるように、無理のない計画を立てましょう。

学習について
国語...漢字(6年間で1006字習います。見直し、確認を。)
算数...小数や分数の四則計算(+・-・×・÷) 割合・百分率

e-ライブラリを活用して
インターネットにつながるパソコンやタブレットがあれば、学習ソフト「e-ライブラリ」を無料で利用できます。家でチャレンジしましょう。

**繰り返しのドリルで
力をつけよう！**
しっかり学習⇒ドリル(単元学習)
「小数・分数の計算」や「筆順」のドリルに、繰り返し取り組みましょう。



**困ったときは
解説を見てみよう！**
しっかり学習⇒解説教材
わからないところや忘れてしまったところは、解説教材で復習しましょう。

学習ページの開き方

インターネットで「**いーら**いぶらり」と検索して、自分の番号でログインしましょう。

学校でもらったIDカードを
用えてね！

仲山ちゃん

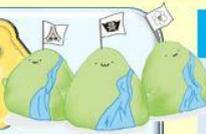
元気の出る明るい学校づくり推進キャラクター 仲山ちゃん

中学校 2年生

自分のめあてを持って学習する

1日の学習時間の目安
100分～

今の自分に必要なことは？
何をしていくか考えよう。



生活

規則正しい生活が「自ら学ぶ力」をつける環境を作っていきます。「早寝早起き朝ごはん」の生活の上に確かな学力が身につきます。

学校

授業では分かったことも、少し時間が経つと不確かな部分が出てきます。授業の見直しは、少しの力で大きな成果につながります。

家庭学習

学習する「場所」「内容」「時間」を決めましょう。その中で自分に合った学習のやり方を見つけて自分の意志で取り組みましょう。

学習について

国語...立場や考えの違いを踏まえる 構成を工夫する
数学...文字式の四則計算 連立方程式 1次関数($y=ax+b$)

☆ 中学校で習う漢字は、小学校で習った漢字以外の常用漢字(1130字)です。

eライブラリを活用して

インターネットにつながるパソコンやタブレットがあれば、学習ソフト「eライブラリ」を無料で利用できます。苦手な部分を確認しましょう。

テーマ学習で 数学の苦手を克服!

しっかり学習→テーマ学習
数学の苦手な単元は、どこからわからないのかさかのぼって調べましょう。



不確かな部分は 解説教材で確認!

解説教材の図版や例題を見直して、不確かな部分を解決しておきましょう。

学習ページの開き方



学校でもらったIDカードを用意してね!

仲山ちゃん

元気の出る明るい学校づくり推進キャラクター 仲山ちゃん

小学校 ～ 中学校

～学びの姿と学習内容～

1日の学習時間の目安
学年×10分+α

～ 学びのつながり ～

学習のやり方が分かる

自ら学ぶ姿勢を身につける

小学校 1・2年生 小学校 3・4年生 小学校 5・6年生
学ぶことの楽しさを知る 学ぼうとする 学んだことを使う

中学校 1年生 中学校 2年生 中学校 3年生
やるべきことを見つける 自分のめあてを持つ 将来の目標を持つ

国語

日常の話す・聞く、書く、読むことが大事です。読書も含めて豊かな言語環境を作っていきましょう。

小学校1・2年生
事柄の順序を話す・聞く・書く・読む
(読書) 本や文章を読んで楽しみたり、知識を得たりする

小学校3・4年生
筋道を立てて話す・聞く・書く・読む
(読書) 目的に応じて、いろいろな本や文章を読む

小学校5・6年生
目的や意図に応じて話す・聞く・書く・読む
(読書) いろいろな本や文章を読んで、それぞれのよさを比べる

中学校1年生
構成を工夫して話す・構成を考えて書く
(読書) 読書を通して物の見方や考え方を広げる

中学校2年生
立場や考えの違いを踏まえて話す・構成を工夫して書く
(読書) 読書を生活に役立てようとする

中学校3年生
相手や場に応じて話す・論理の展開を工夫して書く
(読書) 読書を通じて自己を向上させようとする

算数

計算ができるようになってうれしいね。

小学1年生
3桁までの数の表し方
2桁までのたし算・ひき算

小学3年生
4桁のたし算・ひき算
3桁×2桁のかけ算
商が2桁までのわり算
小数、分数の仕組み

小学5年生
小数のかけ算・わり算
分数×整数、分数÷整数
小数、分数の四則計算
割合、百分率

小学2年生
3桁までのたし算・ひき算
かけ算九九
かんたんな分数の表し方

小学4年生
わる数が2桁のわり算
小数の四則計算
同分母分数のたし算・ひき算

小学6年生
分数のかけ算・わり算
分数、小数の混合計算
比例と反比例
文字を使った式

数学

どのようにするか、意味と手順を理解しよう。

中学1年生
正の数、負の数の四則計算
文字を使った式の計算
一元一次方程式
 $y=ax$ (比例)
 $y=a/x$ (反比例)の表・式・グラフ

中学2年生
文字を使った式の四則計算(単項式と多項式)
連立方程式
 $y=ax+b$ (一次関数)の表・式・グラフ

中学3年生
式の展開と因数分解
() () の展開公式など
√(平方根)を使った計算
 $y=ax^2$ (二次関数)の表・式・グラフ

できる喜びを感じられるよう、毎日漢字や計算の練習をしましょう。

仲山ちゃん

おうちの方へ

義務教育9年間の育ちの見通しです。主に国語と算数・数学について、それぞれの学年で学習する内容を取り組みやすいものを中心にまとめました。継続して取り組むことが、少しの努力で大きな成果を生むことにつながります。

学校での取り組みについて … 今までも、これからも必要なこと

これまでの分析で述べてきましたが、これまで行ってきた教育実践は、今までも児童・生徒に必要な力の育成につながっていました。

これからについても、これまで培ってきた授業実践をもとに、児童・生徒の現状と課題を把握することで、よりよい教育につなげていくことが大事です。

児童・生徒の質問紙から、安心して取り組める学習環境が基盤としてあることも分かりました。教師と児童・生徒との信頼関係、生徒同士の間人間関係について、日々の実践の中で築いてきたことが、質問紙の結果に表れています。

そのような学習の基盤を作っていくことと同時に、やはり、授業においてこれからの社会で必要な力をつけさせていくことが大事です。そのために町内全ての学校で校内研究を通して授業改善に向き合ってきました。その実践が結果として出てきていることは確かです。

国語の分析で学びっ子推進委員会での協議において出てきた書くことについての課題は、国の見解¹²と同じであり、学力・学習状況調査はそれをもとに作成されますので、そのような意味でも、校内研究の授業改善への取り組みは、時代のニーズと合致しているといえます。

これまでの教育委員会の取り組み、学校での取り組みについては、平成28年度の分析に詳細があり、今後も継続して取り組んでいきますが、ここでは、分析結果から今年度の重点について述べていきます。

12【書くことを含めたこれからの学びについて】「我が国の子供たちはどのような課題を抱えているのであろうか。学力に関する調査においては、判断の根拠や理由を明確に示しながら自分の考えを述べたり、実験結果を分析して解釈・考察し説明したりすることなどについて課題が指摘されている。」「視覚的な情報と言葉との結びつきが希薄になり、知覚した情報の意味を吟味して読み解くことが少なくなっているのではないかと指摘もある。」

「文章で表された情報を的確に理解し、自分の考えの形成に生かしていけるようにすることは喫緊の課題である。」「2030年とその先の社会の在り方を見据えながら、学校教育を通じて子供たちに育てたい姿を描くとすれば、以下のような在り方が考えられる。」「理想を実現しようとする高い志や意欲を持って、主体的に学びに向かい、必要な情報を判断し、自ら知識を深めて個性や能力を伸ばし、人生を切り拓いていくことができること。」

「対話や議論を通じて、自分の考えを根拠とともに伝えとともに、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って多様な人々と協働したりしていくことができること。」「変化の激しい社会の中でも、感性を豊かに働かせながら、よりよい人生や社会の在り方を考え、試行錯誤しながら問題を発見・解決し、新たな価値を創造していくとともに、新たな問題の発見・解決につなげていくことができること。」「指導の目的が「何を知っているか」にとどまりがちであり、知っていることを活用して「何ができるようになるか」にまで発展していないのではないか。」「子供たちが、学習内容を人生や社会の在り方と結びつけて深く理解し、これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的に学び続けたりすることができるようにするためには、子供たちが「どのように学ぶか」という学びの質が重要になる。」（「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」より抜粋）

○ 基礎・基本の習得について

授業での学習内容の習得については、その授業でつけさせたい力をはっきりさせることが大事です。教えなくてはいけない部分を確実に押さえ、確認・共有し、また、授業の最後にはしっかりと振り返りを行い、「何を」「どのように学び」「何が分かり」「何ができるようになった」のかを自分自身で認識する力をつけていくことが大事です。

課題

これまでにも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

- ・ 振り返りをしっかりすることで、その授業で身についたことを確認する
- ・ 「何を」「どのように」振り返るかを明確にする
(学習内容の習得・習熟について大きく影響する)

授業内での学習内容の定着が難しい場合には、宿題等でその内容の確認をします。現在、小学校では宿題を習慣化していますので、そのよい習慣を中学校でも引継ぎ、学習内容の習得・習熟につなげていくことが大事です。

また、予習や復習も、授業の進み具合、理解度に影響します。教科書を読むことも予習です。予習と復習については、教師から具体的な内容を伝えることが必要です。

課題

これまでにも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

- ・ 小学校で定着した宿題の習慣を中学校でも引き継ぐ
- ・ 家庭で予習や復習をする習慣を定着させる
(予習・復習については、「何を」「どのように」を具体的に児童・生徒に伝えていく)

○ 「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業について

「主体的・対話的で深い学び」を目指す上で、その基盤となる活動について、児童・生徒質問紙の結果を見ていきます。

国語の授業で目的に応じて資料を読み、 自分の考えを話したり、書いたりしていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	57.3	69.4
	県	67.8	62.3
	国	68.0	62.7

国語の授業で意見などを発表するとき、うまく 伝わるように話の組み立てを工夫していますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	51.5	62.9
	県	63.0	56.7
	国	63.4	55.6

国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの 理由が分かるように気を付けて書いていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	70.3	73.5
	県	74.7	65.4
	国	74.8	65.9

算数・数学の問題の解き方が分からないときは、 諦めずにいろいろな方法を考えますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	76.7	78.3
	県	79.3	72.5
	国	81.1	73.5

算数・数学の授業で公式やきまりを習うとき、そ のわけを理解するようにしていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	79.2	75.8
	県	82.0	71.6
	国	82.6	72.1

算数・数学の授業で問題の解き方や考え方が 分かるようにノートに書いていますか → 当てはまる (%)	平成29年度	小学校	中学校
	寒川町	81.1	86.1
	県	85.8	80.5
	国	86.0	81.3

「主体的・対話的で深い学び」を実現する上で、「目的に応じて必要なことを選択する」「それについて自分の考えを持つ」「みんなで話し合うために伝え方を考える」「共有したことを自分の考えと照らし合わせてまとめる」などの活動が必要です。これらの活動をより活発にするために各校の校内研究では授業改善の意識をしっかりと持つことが大事です。

この調査で分かることは限られていますが、その中でもはっきりしているところから授業改善に向けて取り組んでいくことはできます。そのような点でも、これまでも課題に挙がっている「書くこと」については、国語だけでなく、算数・数学についても同様に言えることです。この「書くこと」について意識をすることで、確実に授業での取り組みが変わっていきます。

またそれとともに日常の学習においても、児童・生徒それぞれのできることに、できるようになりたいことについて、教師の丁寧な見取りをもとに、一人一人に適切な言葉かけをすることが、児童・生徒の学習への意欲を引き出していくことにつながります。

課題

これまでにも取り組んできたが、より重点的に今後取り組みたいこと

目的や意図に応じて必要な情報を取り出して書くこと

集めた情報を根拠にして自分の考えや意見を書くこと

「書くこと」は、大人にとっても難しいことです。自分が伝えたいことをぴつたりと表現できるようになるには練習が必要です。指導をする教師以上に子どもたちはできるようになりたいと思っています。しかしながら、できるようになりたい、書けるようになりたいというイメージは、自分が書いている姿を映像として見ているように、大まかな全体像としての捉えになっていることがあります。教師としては、具体的に何を書くか、何をみて書くか、どこに気をつけて書くか、何のために書くか、どのように書くか等、具体的な表現のイメージを伝えていくことが大事です。児童・生徒の実態に応じて、一つ一つを適切に指導することで、確実に学んだとおりに書けるようになります。その成果が教師がイメージするものと、また、児童・生徒がイメージするものと同じであったなら、教師としてこれほどうれしいことはありません。私たちは児童・生徒の成長を目指して、日々の教育活動に取り組んでいます。

ここで大事にしていきたいことは、教師が児童・生徒になってほしい姿を具体的にイメージすることです。「どのように書いてほしいか」については先述した課題にあります。教師が学年や児童・生徒の実態を適切に把握し、それをもとにつけさせたい力を具体的に持つことが、児童・生徒の学びになります。このことは、「書くこと」だけでなく、授業全般にも当てはまります。つまり、教師が児童・生徒につけさせたい力を具体的に持つことが授業改善につながります。

つけさせたい力は、学習指導要領や校内研究のテーマにあります。今現在行っている実践をどのような視点で見るとかで、その意味は大きく変わります。このような成長を見据えたイメージの先に、児童・生徒の学びが存在します。学びの先の成長を願い続けることが、寒川町の教育をこれからも支えていくのです。